

第10回羽島市新しい時代の学校構想検討委員会 会議要旨

日 時	令和6年11月1日（金） 13時30分～14時02分
場 所	羽島市役所本庁舎 4階 第1委員会室
出席者	<p>【委員】 棚野委員長、松本副委員長、児山委員、石原委員、廣瀬委員、小森委員、長島委員、松下委員、後藤委員、新井委員、鈴木委員、木下委員、太田委員、長岡委員</p> <p>【事務局】 森教育長、小川教育政策課長、稲葉同施設担当課長、高木同課長補佐、岡田同課政策係長、高橋学校教育課長、豊島教育政策・学校支援専門員</p> <p>【参観者】 2名</p> <p>【傍聴者】 3名</p>
内 容	<p>1 開会 2 前回議事録の報告 3 議事（議事進行を委員長に依頼）</p> <p>諮問事項の答申について</p> <p>【委員長】 ・第9回新しい時代の学校構想検討委員会が出た意見を松本副委員長とも相談し、答申書（案）及び報告書（案）を事前に委員の皆様へ送付した。内容を確認いただき、現在の案で了承をいただいている。本日は、案を取り答申書及び報告書を教育委員会に答申として提出してよいか。</p> <p>【委員】 ・委員了承</p> <p>【委員長】 ・答申書を読み上げ、教育長に渡す。</p> <p>【委員長】 ・本日諮問事項に係る答申書及び報告書を教育委員会に提出できた。この委員会も本日で最後である。3年前から参加している委員、途中から委員として参加している方もいる。それぞれの立場から貴重な意見をいただいた。そうした意見が今後の学校の礎となり、未来の子どもたちの教育がよりよくなっていくと考えている。</p> <p>・全10回の委員会を通じて感想などがあれば発言いただきたい。</p> <p>【委員】 ・このような委員会に初めて参加し、いろいろな立場の方々からの意見を聞くことができた。特に共通していたのが、羽島市の教育に対する熱い思いだった。地域の実情を踏まえた意見は大変勉強になった。</p>

【委員】

- ・羽島市の今後の学校のあり方を協議する場に参加できたことを嬉しく思う。フリースクールの運営という形で今も教育に携わっているが、学校が抱えている課題や複雑化する家庭環境について改めて考える機会になった。
- ・ここで議論したことが土台となり、こどもたちの幸せにつながるような社会になるとよい。

【委員】

- ・様々な立場からの意見を聞き、大変勉強になった。会議を重ねることを通じて全体の総意となるような答申書及び報告書ができたことを嬉しく思う。
- ・新しいものを生み出すと大抵の場合、不具合が起きる。その場合、現場の教職員の意見を参考にして軌道修正しながらさらによりよいものを生み出していけるとよい。

【教育長】

- ・熱心で真摯な議論、審議をいただき大変感謝をしている。学校や教育に関する政策、例えば、学校の統廃合などは、行政目線から行われがちになるが、この委員会はこども、保護者、地域の方の目線で議論いただいたと思う。多くの立場の意見から作成された答申となったことについて深く感謝するとともに、教育委員会を代表して嬉しく思う。
- ・付帯事項にあるように、より多くの立場の方、そして当事者であるこどもたちの意見を聞き、反映する機会を設けていきたい。

4 閉会